令和 4 年度第 1 回 ATWS 北海道実行委員会総会 次第

日時:令和4年5月24日(火)13:30~14:00

場所:北海道庁3階知事会議室(ZOOMによる開催)

【開会挨拶】

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道 実行委員会 会長 鈴木 直道(北海道知事)

【議事】

第1号議案	ATWS2021 バーチャル北海道/日本の開催報告について	資料 1
第2号議案	令和3年(2021年)度事業報告、決算及び監査報告	資料 2
第3号議案	令和4年(2022年)度事業計画及び予算	資料3
第4号議案	実行委員会規約の改正について	資料 4

【資料】

- 資料 1 2 Adventure Travel World Summit Virtual Hokkaido, JAPAN 報告書
- 資料2-1 令和3年(2021年)度 事業実施報告
- 資料 2-2 令和 3年(2021年)度 決算書
- 資料2-3 令和3年(2021年)度 監査報告書
- 資料3-1 令和4年(2022年)度 実施予定事業計画
- 資料 3-2 令和 4年(2022年)度 予算書
- 資料4 アドベンチャー・ワールドサミット北海道実行委員会規約 新旧対照表

令和4年度第1回 アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会総会 出席者名簿

日 時: 令和4年5月24日(火) 13:30-

開催方法: ZOOMによるWeb開催

	組織名	職	氏名	備考
1	北海道	知事	鈴木 直道	会長
2	(公社)北海道観光振興機構	会長	小磯 修二	筆頭副会長
3	札幌市	市長	秋元 克広	副会長
4	釧路市	市長	蝦名 大也	副会長
5	国土交通省北海道運輸局	局長	岩城 宏幸	副会長
6	経済産業省北海道経済産業局	局長	池山 成俊	副会長
7	北海道経済連合会	常務理事	小林 良輔	代理出席
8	北海道経済同友会		欠席	書面決議収受済 み
9	(一社)北海道商工会議所連合会	常務理事	佐藤 季規	代理出席
10	北海道商工会連合会	専務理事	戸澤 孝一	代理出席
11	北海道アドベンチャートラベル協議会	事務局長	佐々木 崇史	代理出席
12	(一社)北海道体験観光推進協議会	代表理事	坂本 昌彦	
13	日本航空 (株)	北海道支社長	林 浩一	
14	全日本空輸 (株)	支店長	田部 敏之	
15	(株)AIRDO	札幌販売推進グループ主席	上野 仁美	代理出席
16	北海道エアポート(株)	代表取締役社長	蒲生 猛	
17	北海道旅客鉄道(株)	営業部 専任部長	栗山 恒幸	代理出席
18	(一社)北海道バス協会	専務理事	佐藤 秀典	代理出席
19	(一社)日本旅行業協会	事務局長	秋野 正明	代理出席
20	(一社)全国旅行業協会	事務局長	安齋 裕司	代理出席
	観光庁	MICE連携推進官	山口 知子	オブザーバー
	日本政府観光局 (JNTO)	部長	伊与田 美歴	オブザーバー
	国土交通省北海道開発局	局長	橋本 幸	オブザーバー
	環境省北海道地方環境事務所	所長	櫻井 洋一	オブザーバー
	林野庁北海道森林管理局	次長	川脇 多久男	オブザーバー
	国土交通省東京航空局	局長	藤田 礼子	オブザーバー

第1号議案:資料1-1

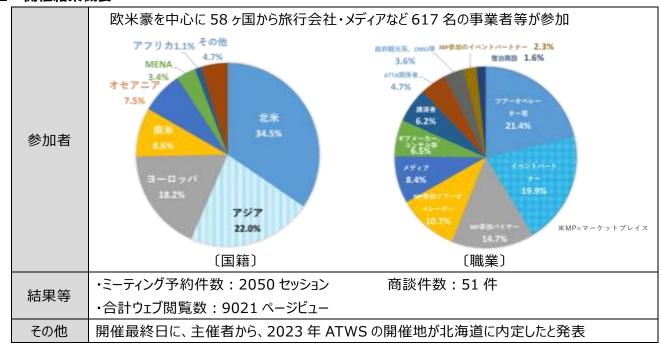
Adventure Travel World Summit Virtual Hokkaido, JAPAN 報告書 概要版

1 イベント概要

主催者	アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション(ATTA)		
期間	9/20~9/24		
州间	* 北米、欧州及び日本の時差を考慮し、全 4 日間のプログラムを翌日に再放送		
開催方法	オンラインによる開催		
テーマ	共生 Kyosei		
	・道内・国内 AT の魅力を動画発信		
開催内容	・オンライン商談会、交流会の開催		
	・各種講演会、分科会の開催		
	(1) オープニングセレモニー (北海道知事(実行委員会会長)の挨拶)		
	(2) Virtual Japan Adventure 制作(会期中毎日 30 分×2 本の映像を放映)		
実行委員会	(3) プレナリー‡ 7 "CELEBRATING HOKKAIDO"制作(4日目)		
による取組	北海道/日本の魅力を参加者に紹介		
	(JNTO による紹介、秋辺日出男氏 [※] による講演、知事メッセージ動画)		
	※ 阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事		

(実行委員会:アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会(委員20団体、顧問6団体で構成))

2 開催結果概要



3 総括

- ATWS2021 開催準備及び ATWS2021 を含むこれまでの ATWS における ATTA 幹部や関係者との意見 交換の場等により、今後取り組むべき課題を以下のとおり整理
 - (1)機運の醸成・日本国内外における認知度の向上
 - (2) 質の高いガイド等の育成・確保
 - (3) 高い顧客ニーズに対応した魅力あるコンテンツ・コースの設定
 - (4) 商品販売体制の整備
- これら課題について、AT を本道及び日本観光の主要な柱の一つとするべく、積極的に取り組む